

# まちの話題

吉

## 良さんの遺徳をしのぶ 第309回吉良義央公毎歳忌



江戸幕府の高家として活躍し、地元では名君として知られる吉良上野介義央公。12月14日に吉良町華蔵寺で行われた毎歳忌には、義央の正室富子の実家上杉家が治めた山形県米沢市の安部市長をはじめ、全国各地から関係者が集まり遺徳をしのびました。記念行事として石川あき子さんによる語り「吉良武士道・さむらい」と、筒井潔さんらによる無料アプリ「名君！吉良さん」の実演も行われました。



た

## すきをつないで絆を強めた 第4回西尾市駅伝フェスティバル



絶好のスポーツ日和となった12月18日、古川緑地とハツ面山公園で第4回西尾市駅伝フェスティバルが開催されました。一般、小学生、中学生、シニア・フレンドリーの各部で132チーム778人が参加。スタートの号砲が鳴ると、各チームの第1走者が一斉に駆け出していきました。参加者の家族や友人たちが拍手や声援を送る中、ふるさとの山と川沿いのコースを自分たちのペースで、たすきをつなぎながら快走していました。



豊

## 作を願って厄男たちが練り歩く 天下の奇祭 てんてこ祭り

1月3日、県の無形民俗文化財に指定されている「てんてこ祭り」が熱池町八幡社で行われました。約1,150年前のお田植えの儀式を今に伝えるこの祭り。



赤装束に身を包み、腰に大根を付けた厄男たちが、「テンテコ・テン」と打ち鳴らす小締太鼓の拍子に合わせて腰を振りながら境内などを練り歩く奇妙な姿に、参拝者は笑みを浮かべながら眺めたりカメラを向けたりしていました。また、かぶると厄よけになると伝えられているわら灰を厄男たちが竹ぼうきを使って振りまくと、大勢の方が歓声を上げながら灰を浴びていました。



# できごと

12/11 ▶▶ 1/10

## 12/16 名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォーク



名鉄西尾・蒲郡線の存続を願い、こどもの国駅から西尾駅までの沿線を西尾高等学校の生徒が歩きました。

## 12/27 ~1/10 西尾の郷土玩具と干支展

おしろタウン・シャオに場所を移して初めての「郷土玩具と干支展」が開催されました。きらら鈴や幡豆焼、ひょうたん、辰の置物が展示・販売されました。



## 1/2・3 ジャンボかるた取り

愛知こどもの国でジャンボかるた取りが行われ、参加した子どもたちは身の丈ほどの大きなかるたを元気よく取り合っていました。



## 1/4 三河万歳 「新春の舞」

市役所市民ロビーで西野町小学校御殿万歳部が三河万歳「新春の舞」を披露しました。



## 1/8 平成24年成人式

文化会館、一色町公民館、吉良町公民館、幡豆ふれあいセンターで成人式が行われ、計1,902人が成人を迎えました。



## 災 害に備えあれば憂いなし 消防出初式

1月7日、文化会館南駐車場で消防本部職員90人、消防団員125人が参加し、消防出初式が挙行されました。

市長による各部隊の視閲やポンプ車・はしご車など車両23台の分列行進の後、恒例のかくし絵が披露されました。巨大な壁面に放水を当てると「災害に備えあれば憂いなし」の文字とともに今年のエトである辰（竜）の絵が現れ、約1,900人の観衆からは大きな拍手が沸き起こりました。



そのほか、三連梯子の実技訓練やポンプ車操法、一斉放水が繰り広げられ、最後に来場者全員による「火の用心三唱」で西尾市の無火災・無災害を祈念して、式は締めくくられました。

そのほか、三連梯子の実技訓練やポンプ車操法、一斉放水が繰り広げられ、最後に来場者全員による「火の用心三唱」で西尾市の無火災・無災害を祈念して、式は締めくくられました。

## 佐 久島独特の奇祭 八日講祭り

1月8日、佐久島の八剣神社で八日講祭りが行われました。市の無形民俗文化財に指定されているこの祭りは、240年ほど前から伝えられ、弓矢で射ることによって邪気を払い、無病息災を祈願する佐久島独特の奇祭です。



当日は島民や観光客が見守る中、邪気の象徴として「鬼」と書かれた八角凧に、古式ゆかしい装束の二人の厄男が矢を放つと、地元の子どもたちが一斉に凧の骨を奪い合いました。この凧の骨を持ち帰ると一年を無病息災で過ごせると言われています。

最後に参拝者たちが楽しみにしている恒例の餅投げが始まると、祭りはクライマックスを迎えました。